

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和5年度の業務運営に  
関する計画（年度計画）の制定にあたって  
【JAXA 理事長談話】

令和4年度において、革新的衛星技術実証3号機、QPS-SAR-3、QPS-SAR-4を搭載したイプシロンロケット6号機、及び先進光学衛星「だいち3号」を搭載したH3ロケット試験機1号機の打上げに失敗しました。

搭載された衛星に関係された皆さま、そして多くの国民の皆さまのご期待やご支援に応えられず、あらためて深くお詫び申し上げます。

相次ぐ基幹ロケットの打上げ失敗となり、JAXA 理事長としての責任を大変重く受け止めております。今後、慎重かつ速やかに原因究明し、対策を進め、対応について透明性を持って説明するなかで責務を果たしていく所存です。

宇宙基本計画の着実な遂行、我が国の宇宙活動の自立性確保と国際競争力強化には基幹ロケットは欠かせないものであり、今般の打上げ失敗の原因究明並びに背後要因の分析を着実に進めた上で、失敗に怯むことなく早期に打上げを成功させるべく全力を注ぐとともに、今般制定する業務運営に関する計画に真摯に取り組んでまいります。

今後とも、国民の皆様、関係者の皆様からのご指導、ご支援を賜われますようお願い申し上げます。

令和5年3月  
JAXA 理事長 山川 宏